

日本航空株式会社

2015年3月期第2四半期

決算説明会



2014年10月31日

代表取締役社長

取締役専務執行役員

植木義晴

斉藤典和



2015年3月期第2四半期 業績概要

P.2



2015年3月期業績予想の修正について

P.3



中期経営計画の進捗について

P.4



2015年3月期第2四半期 業績詳細

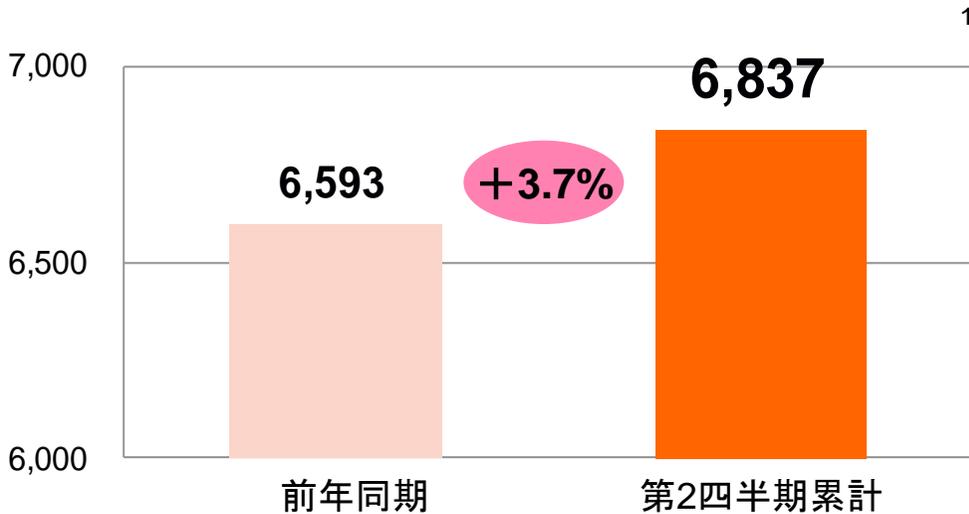
P.6



参考資料

営業収益

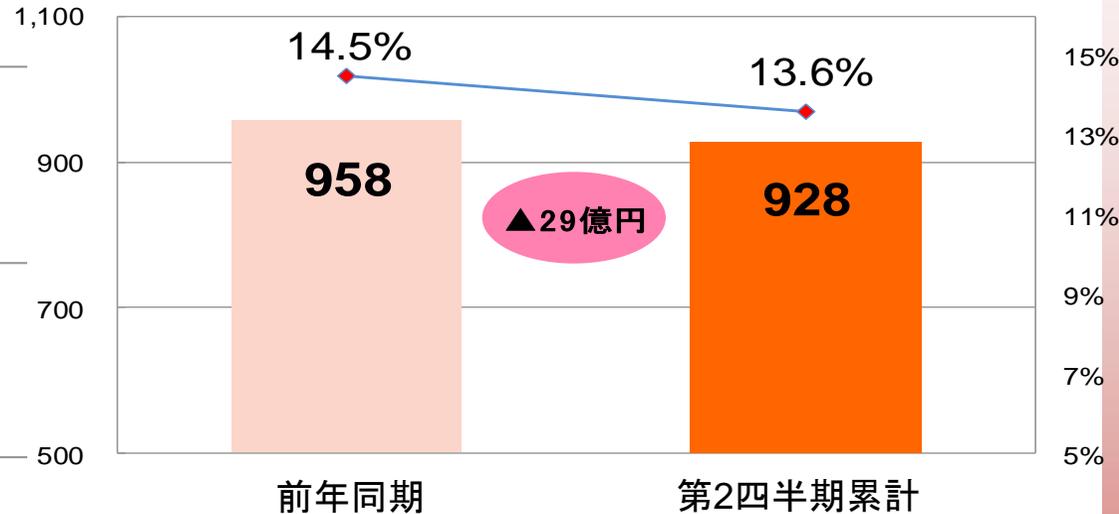
(億円)



営業利益

(億円)

営業利益率

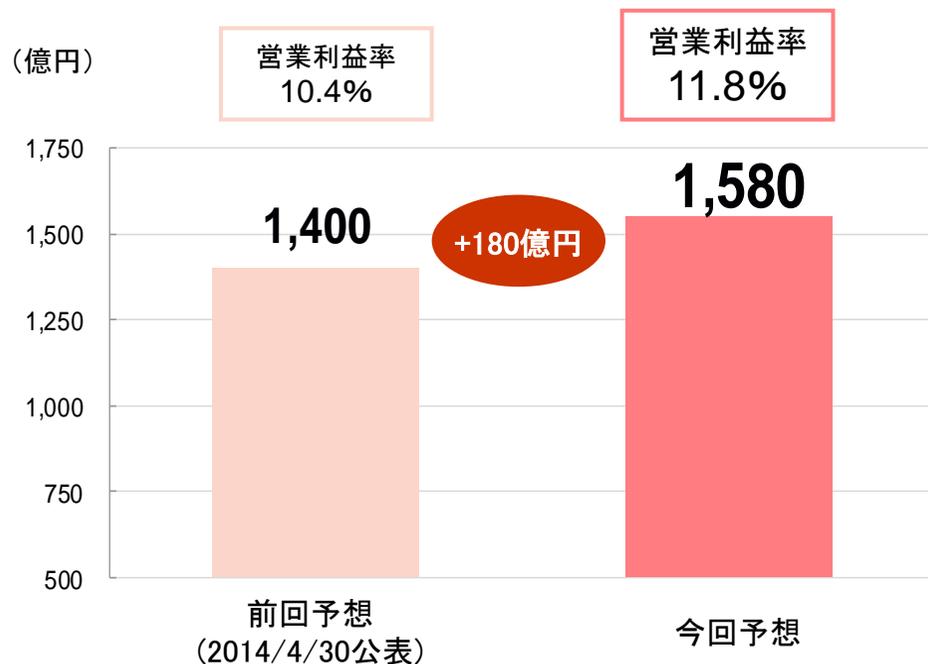


燃油・為替市況実績

	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比
為替 (円/USD)	98.5	102.2	+3.7%
シンガポールケロシン (USD/bbl)	119.6	119.4	▲0.2%
ドバイ原油 (USD/bbl)	103.1	105.1	+2.0%

- ✓ 競争激化と為替影響、燃油市況の上昇等により減益となったが、営業利益は928億円を確保
- ✓ 営業利益率は13.6%となり目標とする営業利益率水準(10%以上)を上回って順調に推移

営業利益の上方修正



- ✓ 第2四半期までの実績及び燃油の市況変化等を勘案し、通期業績予想を修正
- ✓ 営業利益1,580億円、営業利益率11.8%
- ✓ 引き続き、厳しい事業環境下にあっても利益極大化を追求

燃油・為替前提	FY13実績	FY14今回予想	前回予想 (2014/4/30公表)
為替(円/USD)	99.9	104.6 (下期107.0)	107
シンガポールケロシン (USD/bbl)	121.5	118.7 (下期118.0)	125
ドバイ原油 (USD/bbl)	104.7	105.1 (下期105.0)	107

配当金予想について

- ✓ 2015年3月期の配当金予想は、業績見通しがより明らかになった段階で随時開示予定

商品・サービスの強化

国際線

JAL SKY SUITE 777

Welcome! JAL New Sky



- ✓ 本邦航空会社初となるSKYTRAX社による「ベスト・ビジネスクラス・エアラインシート」賞を受賞 
- ✓ ロンドン、ニューヨーク、パリ、ロサンゼルス、シカゴ、フランクフルト、ジャカルタ線に導入済み
- ✓ 2014年12月～ 羽田=サンフランシスコ線、成田=シドニー線に投入予定

JAL SKY SUITE 767

Welcome! JAL New Sky



- ✓ 2013年12月～成田=バンクーバー線にて運航開始
- ✓ 長距離東南アジア線、ホノルル線等へ順次導入

*SKY SUITE767 ビジネスクラスシート

JAL SKY SUITE 787

Welcome! JAL New Sky

- ✓ 2014年12月～成田=フランクフルト線
2015年1月～成田=ニューヨーク線(JL004/JL003便)へ投入予定

路線・ネットワークの拡充

- ✓ 中部=バンコク線開設
2014年12月20日～ 週間7便
(767-300ER型機、787-8型機)
- ✓ 関西=ロサンゼルス線開設
2015年3月20日～ 週間7便
(787-8型機)

商品・サービスの強化

国内線



- ✓ 国内線新仕様機材「JAL SKY NEXT」
 - 普通席の足元スペースを最大5cm拡大(写真)
 - クラスJ/普通席とも上質感のある本革仕様に
 - 機内照明のLED化
- ✓ 機内インターネットの導入
- ✓ 「2014年度グッドデザイン・ベスト100」を受賞



*普通席シート

	就航時期	対象機材
新座席・機内インテリア	5月28日～	国内線用
機内インターネット	7月23日～	777-200/300型機、767-300/300ER型機、737-800型機 合計:77機(予定)

顧客満足No.1に向けて

- ✓ 2014年JCSI(*)調査において、国際線の他者推奨意向が初の1位を獲得し、再利用意向(ロイヤルティ)も2年連続1位
- ✓ 国内線においても再利用意向の順位が3位まで上昇し、顧客満足No.1に向け着実に進捗

(*)JCSI:公益財団法人 日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が公表する日本版顧客満足度指数

2014年	他者推奨意向	再利用意向
国際線	1位(2位)	1位(1位)
国内線	3位(2位)	3位(6位)

()内は前年度順位

第2四半期業績 詳細



取締役専務執行役員
齊藤典和

2015年3月期 第2四半期 連結経営成績

(単位:億円)	前年同期	第2四半期 累計	前年 同期比	第2四半期 (1)	前年同期比
営業収益	6,593	6,837	+3.7%	3,766	+3.1%
航空運送連結	5,890	6,093	+3.4%	3,351	+2.8%
営業費用	5,634	5,909	+4.9%	3,024	+3.8%
航空運送連結	5,029	5,267	+4.7%	2,677	+3.6%
営業利益	958	928	▲3.1%	742	+0.6%
航空運送連結	861	826	▲4.1%	674	▲0.4%
営業利益率 (%)	14.5%	13.6%	▲1.0pt	19.7%	▲0.5pt
経常利益	901	916	+1.7%	747	+6.1%
四半期純利益	819	803	▲2.0%	655	+3.1%
ASK(百万席キ口)	42,319	42,479	+0.4%	21,683	+0.3%
RPK(百万人キ口)	29,607	30,324	+2.4%	16,072	+1.1%
EBITDAマージン (%) (2)	20.7%	19.8%	▲0.9pt	25.4%	▲0.6pt
EBITDARマージン (%) (3)	23.1%	21.7%	▲1.3pt	27.1%	▲1.0pt
ユニットコスト(円) (4)	8.5	8.7	+0.1	8.6	+0.0
燃油費含む	11.9	12.4	+0.5	12.3	+0.4

- ✓ 営業収益は6,837億円となり前年比+3.7%
- ✓ 営業利益は前年比▲3.1%の928億円、営業利益率は13.6%
- ✓ 経常利益は前年比+1.7%の916億円
- ✓ 四半期純利益は前年比▲2.0%の803億円

注: 1. 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出
 2. EBITDAマージン=EBITDA/営業収益 EBITDA=営業利益+減価償却費
 3. EBITDARマージン=EBITDAR/営業収益 EBITDAR=営業利益+減価償却費+航空機材賃借料
 4. ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く)÷ASK



営業利益増減の推移

2015年3月期 第2四半期

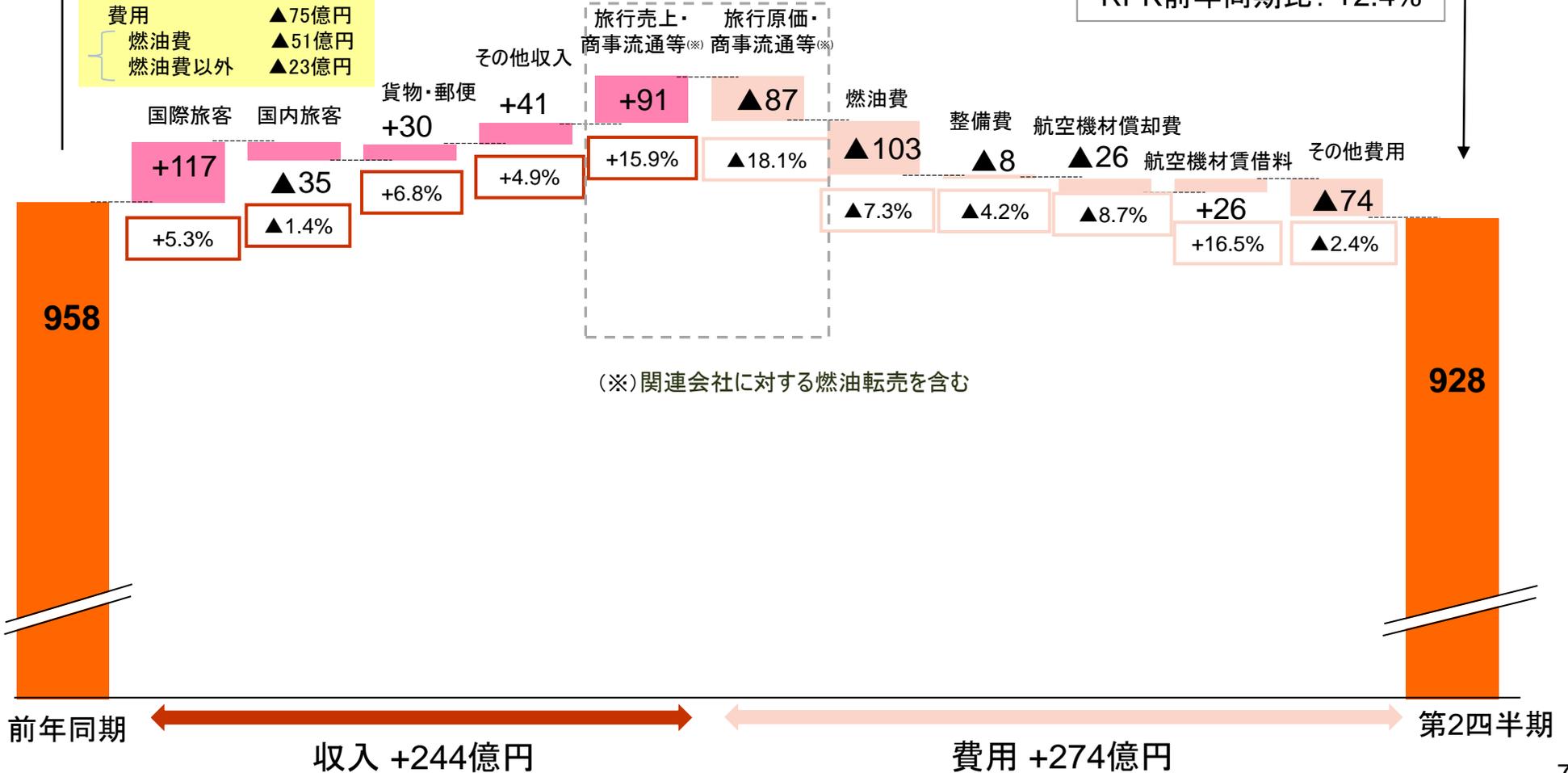
(単位: 億円)

▲29億円
(▲3.1%)

ASK前年同期比: +0.4%
RPK前年同期比: +2.4%

うち為替影響 ▲48億円

収入	+27億円
費用	▲75億円
燃油費	▲51億円
燃油費以外	▲23億円



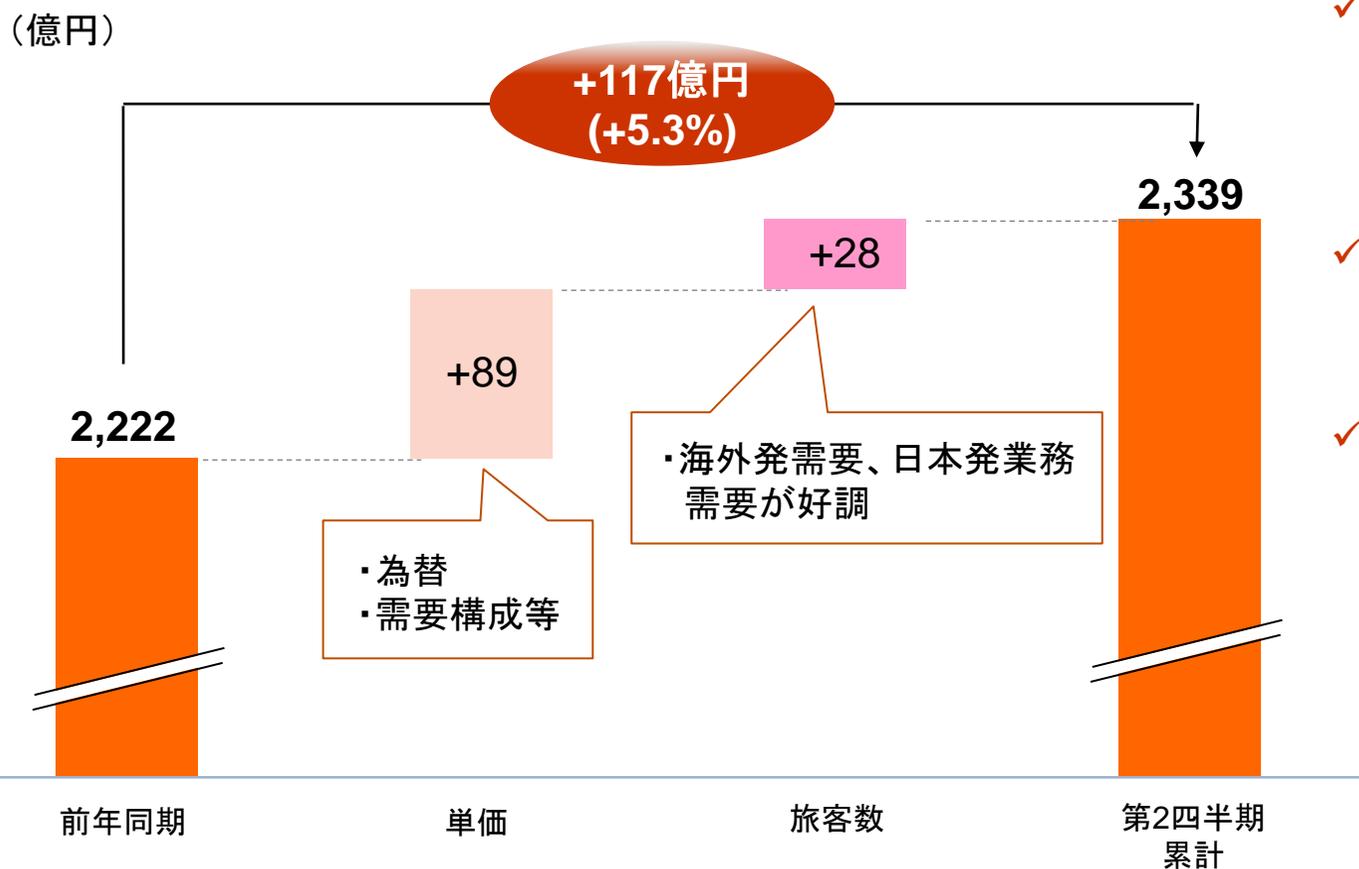
国際旅客事業の状況

	前年同期	第2四半期累計	前年同期比	第2四半期(1)	前年同期比
旅客収入(億円)	2,222	2,339	+5.3%	1,267	+2.8%
ASK(百万席キロ)	23,089	23,988	+3.9%	12,260	+3.6%
RPK(百万人キロ)	17,608	18,185	+3.3%	9,589	+1.7%
有償旅客数(千人)	3,847	3,895	+1.2%	2,050	▲0.7%
座席利用率(%)	76.3	75.8	▲0.4pt	78.2	▲1.5pt
イールド(2)(円)	12.6	12.9	+1.9%	13.2	+1.1%
ユニットレベニュー(3)(円)	9.6	9.8	+1.3%	10.3	▲0.8%
単価(4)(円)	57,751	60,055	+4.0%	61,785	+3.6%

- ✓ 旅客収入は2,339億円となり前年比+5.3%の増収
- ✓ イールドが前年比+1.9%となり、増収に寄与
- ✓ RPKも前年比+3.3%となったものの、座席利用率は0.4ポイント低下

注: 1. 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出
 2. イールド=旅客収入/RPK
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

2015年3月期 第2四半期



✓ 成田=ニューヨーク、ジャカルタ線を増便、羽田=ホーチミンシティ線を開設

✓ SKY SUITE 777/767導入拡大がイールド向上に寄与

✓ 太平洋線、中国線の座席利用率が向上

利用率

太平洋線 82.1% (対前年+ 2.8pt)

中国線 65.3% (対前年+ 2.4pt)

国内旅客事業の状況

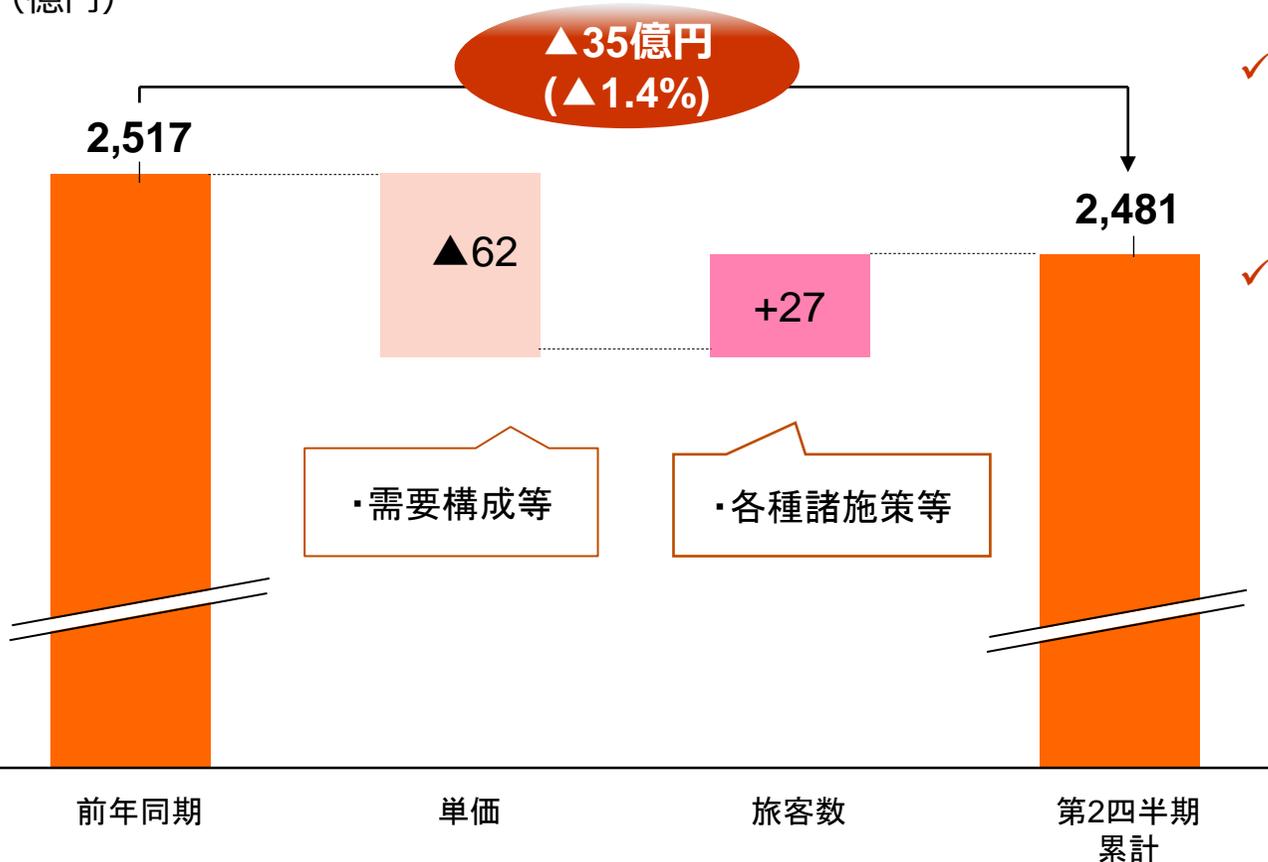
	前年同期	第2四半期累計	前年同期比	第2四半期(1)	前年同期比
旅客収入(億円)	2,517	2,481	▲1.4%	1,424	▲0.3%
ASK(百万席キロ)	19,229	18,490	▲3.8%	9,422	▲3.7%
RPK(百万人キロ)	11,999	12,138	+1.2%	6,483	+0.2%
有償旅客数(千人)	15,784	15,952	+1.1%	8,437	+0.2%
座席利用率(%)	62.4	65.6	+3.2pt	68.8	+2.7pt
イールド(2)(円)	21.0	20.4	▲2.5%	22.0	▲0.6%
ユニットレベニュー(3)(円)	13.1	13.4	+2.5%	15.1	+3.5%
単価(4)(円)	15,947	15,558	▲2.4%	16,880	▲0.5%

- ✓ ASKを前年比▲3.8%とする中、RPKは同+1.2%、座席利用率は同+3.2ptの65.6%
- ✓ 単価は需要喚起型旅客の増加等から前年比▲2.4%
- ✓ イールドは▲2.5%となったため、旅客収入は前年比▲1.4%の2,481億円

- 注: 1. 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出
 2. イールド=旅客収入/RPK
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

2015年3月期 第2四半期

(億円)



✓ 需要構成の変化

- ・「特便割引21」利用等の需要喚起型旅客の構成比増加

✓ 各種施策の実施

- ・ 需要喚起型旅客の増加
- ・ JAL SKY NEXT 導入
- ・ 観光商品(パッケージ商品)の予約受付期間を 出発10日前までから7日前までへ延長等

主要営業費用項目



JAPAN AIRLINES

営業費用内訳

(単位:億円)	前年同期	第2四半期 累計	前年差	前年 同期比	第2四半期 (1)	前年差
燃油費	1,411	1,514	+103	+7.3%	778	+49
運航施設利用費	407	408	+1	+0.3%	209	+1
整備費	206	215	+8	+4.2%	102	▲7
航空販売手数料	111	119	+7	+7.2%	61	+4
航空機材償却費	305	331	+26	+8.7%	165	+7
航空機材賃借料	157	131	▲26	▲16.5%	64	▲15
人件費	1,170	1,174	+3	+0.3%	588	+2
旅行原価・商事 流通等(*)	481	568	+87	+18.1%	317	+46
その他	1,382	1,444	+61	+4.5%	737	+21
営業費用計	5,634	5,909	+274	+4.9%	3,024	+110

- ✓ 営業費用の増加分のうち、円安影響は75億円
- ✓ 燃油費は103億円増加(うち、円安影響で+51億円)
- ✓ リース機の買取等により、航空機材賃借料は減少
- ✓ 部門別採算制度の浸透により、引き続き採算管理を徹底

(*) 関連会社に対する燃油転売を含む

ASK前年比: +0.4%

注: 1. 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出

第2四半期末 連結財務状況

(単位: 億円)	前年度末 2014/3/31	第2四半期末 2014/9/30	前年度末差
総資産	13,401	14,000	+598
現金及び預金	3,687	3,847	+160
有利子負債残高 (1)	1,342	1,129	▲212
オフバランス 未経過リース料	1,455	1,394	▲61
自己資本	6,902	7,151	+248
自己資本比率 (%)	51.5%	51.1%	▲0.4pt
D/Eレシオ (倍) (2)	0.2x	0.2x	▲0.0x

- ✓ 有利子負債残高は返済等により212億円減少し1,129億円
- ✓ 自己資本比率は退職給付会計基準変更等により第1四半期末に50%を下回ったものの、第2四半期純利益の計上により50%以上を回復

注: 1. 割賦未払金を含む。
2. D/Eレシオ=(オンバランス有利子負債)÷(自己資本)

2015年3月期業績予想(連結業績)



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	前年度実績	2015年3月期 今回予想	前回予想 (2014/4/30公表)	予想増減額
営業収益	13,093	13,400	13,500	▲100
営業費用	11,425	11,820	12,100	▲280
営業利益	1,667	1,580	1,400	+180
営業利益率(%)	12.7%	11.8%	10.4%	+1.4pt
経常利益	1,576	1,550	1,350	+200
当期純利益	1,662	1,350	1,150	+200

	2015年3月期 今回予想	前回予想 (2014/4/30公表)
ASK* 国際線	103.7	104.9
国内線	98.4	97.9
RPK* 国際線	103.2	102.7
国内線	101.1	99.2
<small>*前年度実績を100として</small>		
為替(円/USD)	104.6 (下期107.0)	107
シンガポールケロシン (USD/bbl)	118.7 (下期118.0)	125
ドバイ原油 (USD/bbl)	105.1 (下期105.0)	107

(単位:億円)		前年度 実績	2015年 3月期 今回予想	前回予想 (2014/4/30公表)	予想 増減額
営業収益	国際旅客収入	4,375	4,570	4,510	+60
	国内旅客収入	4,874	4,870	4,870	0
	貨物郵便収入	919	940	940	0
	その他の収入	2,924	3,020	3,180	▲160
営業費用	燃油費	2,833	3,050	3,160	▲110
	燃油費以外	8,591	8,770	8,940	▲170
ユニットコスト(円)		8.8	8.8	8.8	0

- ✓ 燃油の市況前提を見直し
- ✓ 営業利益を上方修正
- ✓ 関連会社に対する燃油転売額を下期は収入・費用双方から差し引く等により、営業収益・営業費用が各100億円減少

注: ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く)÷ASK

明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

電話番号 03-5460-3068

《参考》2015年3月期業績予想(航空運送事業)



JAPAN AIRLINES

前年同期比% (座席利用率を除く)	国際旅客			国内旅客		
	上期 (実績)	下期 (予想)	2014年度 (予想)	上期 (実績)	下期 (予想)	2014年度 (予想)
ASK	+3.9%	+3.6%	+3.7%	▲3.8%	+0.8%	▲1.6%
RPK	+3.3%	+3.0%	+3.2%	+1.2%	+1.0%	+1.1%
有償旅客数	+1.2%	+1.4%	+1.3%	+1.1%	+1.1%	+1.1%
座席利用率 (%)	75.8	76.4	76.1	65.6	65.9	65.8
イールド	+1.9%	+0.6%	+1.3%	▲2.5%	+0.5%	▲1.0%
ユニットレベニュー	+1.3%	+0.1%	+0.7%	+2.5%	+0.7%	+1.6%
単価	+4.0%	+2.2%	+3.1%	▲2.4%	+0.4%	▲1.1%

《参考》キャッシュフローの状況(実績)



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期差
税金等調整前四半期純利益	908	918	+9
減価償却費	405	426	+20
その他	68	72	+3
営業キャッシュフロー合計	1,383	1,417	+34
設備投資額 ⁽¹⁾	▲562	▲772	▲209
その他	▲19	21	+40
投資キャッシュフロー合計⁽²⁾	▲582	▲751	▲169
フリーキャッシュフロー ⁽³⁾	801	666	▲134
有利子負債返済 ⁽⁴⁾	▲229	▲220	+8
配当金、その他	▲341	▲309	+31
財務キャッシュフロー	▲570	▲529	+40
キャッシュフロー合計⁽⁵⁾	230	136	▲94
EBITDA	1,364	1,354	▲9
EBITDAR	1,521	1,486	▲35

- 注: 1.固定資産の取得による支出
 2.定期預金の入出金を除く
 3.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
 4.長期借入金の返済+リース債務の返済
 5.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー

《参考》2015年3月期業績予想(貸借対照表/キャッシュフロー)



JAPAN AIRLINES

連結貸借対照表

(億円)	2014年3月期 実績	2015年3月期 今回予想	前回予想 (2014/4/30公表)	予想増減額
総資産	13,401	14,610	14,020	+590
有利子負債残高	1,342	1,010	1,010	+0
自己資本	6,902	7,680	7,440	+240
自己資本比率(%)	51.5%	52.6%	53.1%	▲0.5pt
ROA(%) ⁽¹⁾	13.0%	11.3%	10.2%	+1.1pt

連結キャッシュフロー

(億円)	2014年3月期 実績	2015年3月期 今回予想	前回予想 (2014/4/30公表)	予想増減額
営業キャッシュフロー	2,479	2,490	2,260	+230
投資キャッシュフロー ⁽²⁾	▲1,667	▲1,970	▲1,950	▲20
フリーキャッシュフロー ⁽²⁾	812	520	310	+210
財務キャッシュフロー	▲619	▲620	▲620	+0
EBITDA	2,495	2,450	2,270	+180
EBITDAR	2,810	2,710	2,530	+180

注: 1. ROA = (営業利益)/(期首総資産額+期末総資産額)/2

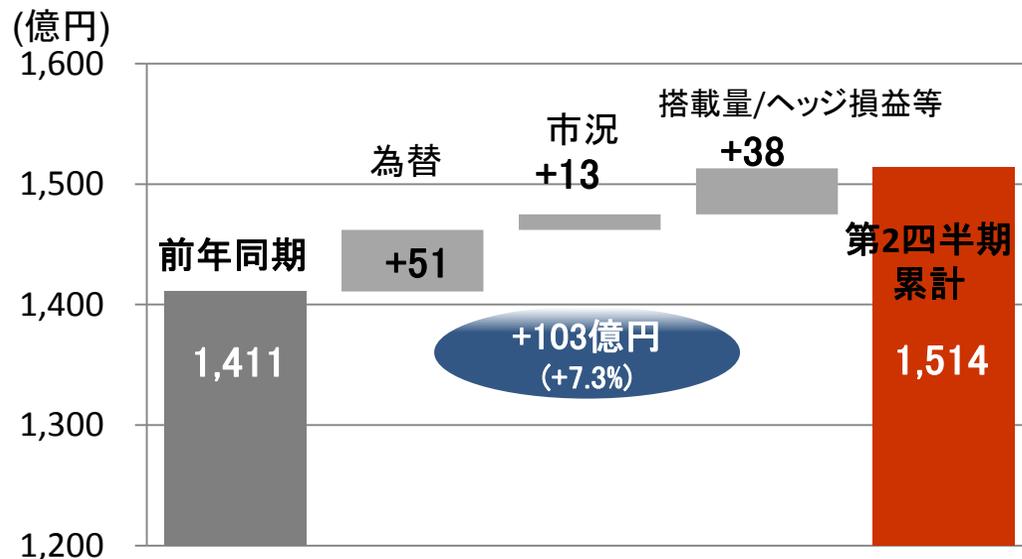
2. 定期預金の入出金を除く

《参考》燃油・為替の影響度

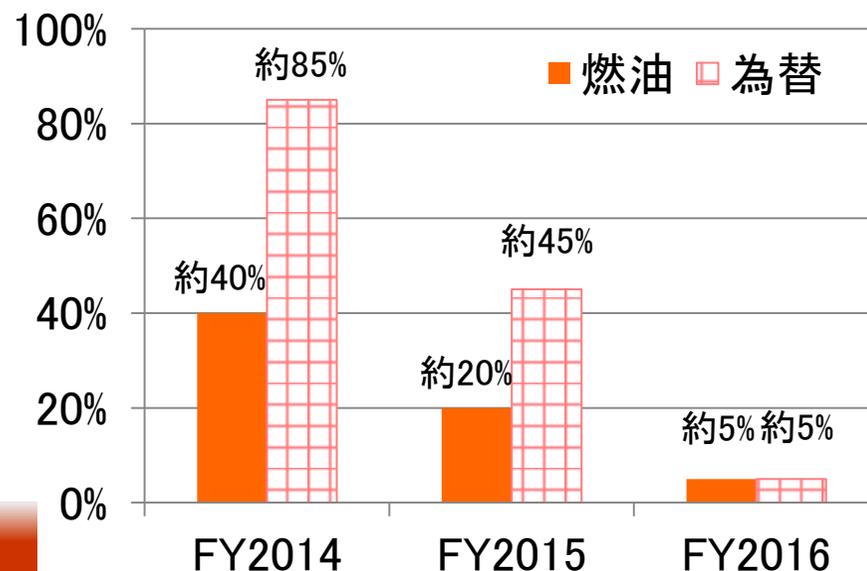


JAPAN AIRLINES

燃油費増減の推移



燃油費に対する年度別ヘッジ概況 (2014年9月末時点)



燃油・為替前提

	前年同期	第2四半期累計	前年同期比	2014年度見通し
為替 (円/USD)	98.5	102.2	+3.7%	104.6 (下期107.0)
シンガポールケロシン (USD/bbl)	119.6	119.4	▲0.2%	118.7 (下期118.0)
ドバイ原油 (USD/bbl)	103.1	105.1	+2.0%	105.1 (下期105.0)

燃油費への感応度(ヘッジなし)

燃油費への影響(年間)	
原油 (1USD/bblの変動)	約23億円
為替 (1円/USDの変動)	約26億円

《参考》国際線収入大路別実績



JAPAN AIRLINES

旅客収入 (対国際線全体比率)

(単位:%)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期差	第2四半期	前年同期差
太平洋線	34.5%	36.5%	+2.0pt	38.0%	+2.5pt
欧州線	20.0%	18.5%	▲1.5pt	18.5%	▲2.0pt
アジア・オセアニア線	35.0%	33.5%	▲1.5pt	32.5%	▲0.5pt
中国線	10.5%	11.5%	+1.0pt	11.0%	+0.0pt

ASK

(単位:百万席キ口)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
太平洋線	8,456	9,068	+7.2%	4,624	+4.0%
欧州線	4,149	4,050	▲2.4%	2,082	▲4.7%
アジア・オセアニア線	8,718	9,038	+3.7%	4,625	+7.7%
中国線	1,765	1,831	+3.8%	928	+3.1%

RPK

(単位:百万人キ口)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
太平洋線	6,706	7,440	+10.9%	3,910	+8.8%
欧州線	3,279	3,133	▲4.4%	1,680	▲6.7%
アジア・オセアニア線	6,511	6,414	▲1.5%	3,342	▲1.3%
中国線	1,111	1,196	+7.7%	655	+1.5%

有償旅客数

(単位:千人)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
太平洋線	870	951	+9.3%	501	+6.8%
欧州線	353	342	▲3.3%	183	▲6.4%
アジア・オセアニア線	2,031	1,960	▲3.5%	1,012	▲4.0%
中国線	591	641	+8.4%	352	+2.2%

Load Factor

(単位:%)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期差	第2四半期	前年同期差
太平洋線	79.3%	82.1%	+2.8pt	84.6%	+3.8pt
欧州線	79.0%	77.4%	▲1.6pt	80.7%	▲1.7pt
アジア・オセアニア線	74.7%	71.0%	▲3.7pt	72.3%	▲6.6pt
中国線	62.9%	65.3%	+2.4pt	70.6%	▲1.1pt

《参考》保有航空機一覽



JAPAN AIRLINES

		前年度末 2014/3/31			第2四半期末 2014/9/30			増減
		所有	リース	合計	所有	リース	合計	
大型機	Boeing 777-200	15	0	15	14	0	14	▲1
	Boeing 777-200ER	11	0	11	11	0	11	-
	Boeing 777-300	7	0	7	7	0	7	-
	Boeing 777-300ER	13	0	13	13	0	13	-
	大型機 小計	46	0	46	45	0	45	▲1
中型機	Boeing 787-8	15	0	15	15	0	15	-
	Boeing 767-300	15	0	15	14	0	14	▲1
	Boeing 767-300ER	18	14	32	21	11	32	-
	中型機 小計	48	14	62	50	11	61	▲1
小型機	MD90	0	0	0	0	0	0	-
	Boeing 737-400	11	2	13	10	2	12	▲1
	Boeing 737-800	21	29	50	21	29	50	-
	小型機 小計	32	31	63	31	31	62	▲1
リージョナル機	Embraer 170	15	0	15	15	0	15	-
	Bombardier CRJ200	9	0	9	9	0	9	-
	Bombardier D8-400	9	2	11	9	2	11	-
	SAAB340B	10	1	11	11	0	11	-
	Bombardier D8-300	1	0	1	1	0	1	-
	Bombardier D8-100	4	0	4	4	0	4	-
	リージョナル機 小計	48	3	51	49	2	51	-
合計	174	48	222	175	44	219	▲3	

本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社と併せて「当社グループ」といいます)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。